

佐保台地域学校規模適正化 教育企画課 3月

検討協議会ニュース 【第2号】

第2回佐保台地域学校規模適正化検討協議会を平成21年3月14日(土)に佐保台幼稚園で開催いたしました。



(1) 適正化実施計画案等の確認

第1回検討協議会以降、自治会長が改選され、地域代表の委員5人が全員入れ替わったこともあり、再度、教育委員会から奈良市学校規模適正化実施方針や佐保台地域の適正化実施計画案、認定こども園制度についての説明を行いました。その際、第1回検討協議会で出た質問や要望等についての説明もプレゼンテーションの中で行いました。

(2) 適正化に対しての保護者の意見・要望等(抜粋)

第1回検討協議会以降、佐保台幼稚園の育友会で在園児の保護者対象に適正化のアンケートを実施され、育友会会長からアンケート結果としての保護者の思いや要望等について説明がありました。主な要望等の内容は以下のとおりです。

●幼稚園を無くせば、奈良市が推進している「幼小連携教育」ができなくなり、これは矛盾していることにならないのか。(保護者)

→ 「幼小連携教育」は、幼児期(幼稚園・保育園)における就学前教育と小学校における学校教育との連続性を考慮した連携を進めるものです。そのため、小学校区内の幼稚園との連携に限らず、近隣の幼稚園や保育園との連携を考えており、小学校区内に幼稚園がなくても連携はできると考えています。(事務局回答)

●小規模園でも、保護者としては先生方のきめの細かい関わりがあり、最高の教育環境だと考えているので、幼稚園の存続を願っています。(保護者)

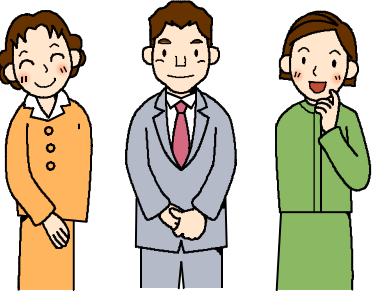
→ 市立幼稚園の適正な学級数は「クラス意識の高まりによる教育効果」と「切磋琢磨して育つ教育環境」を確保することからクラス替えが可能な「2学級編制」を基本にしています。また、1学級編制の場合の最低必要人数は、教育効果が著しく低下しない集団規模の確保から、欠席があっても3～4人の班が3つ以上作れることから、最低15人は必要であると考えています。(事務局回答)

●統合再編が避けられない場合は、通学路の安全確保やスクールバス等の交通手段の確保、統合先に駐車場等の送迎スペースの確保をお願いしたい。(保護者)

→ 佐保台地域から左京地域への路線バスの運行状況は、乗り継ぎが必要であり、運行本数も少ないことから通園には適しておらず、保護者が要望している「交通手段の確保」や「駐車場の送迎スペースの確保」等については、今後の検討が必要だと考えています。(事務局回答)

(3) 地域・保護者から出た主な意見等について

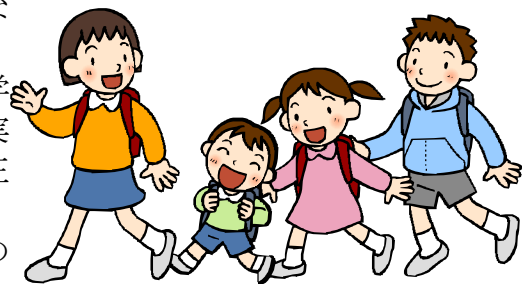
- ・ 集団活動が大切なのか、安全確保が大切なのか、いろいろなことが考えられるが、幼稚園に長年関わってきた者として、地域から幼稚園が無くなることは考えられない。何とか地域に幼稚園を残して欲しい。(地域)
- ・ 幼稚園のリズム室では、未就園児の保護者同士がコミュニケーションをとるサロンの場として利用してきたので、無くなると思うと不安です。(地域)
- ・ 平成21年4月に入園する園児が2人であることを知って、佐保台地域に4・5歳児がもっと住んでいるのなら、地域全体で呼びかけ、地元の幼稚園に通わすようにしたらいい。園児数が少ないから適正化が実施されるのだと思う。(地域)
- ・ 佐保台幼稚園で、3歳児保育や認定こども園を実施することはできないのですか。もし、教室が足りないのなら、小学校の教室を借りることも可能だと思います。(地域)
→ 佐保台小学校には、余裕教室は無い状況です。(小学校長)
- ・ 認定こども園は、とてもいい制度・施設だと思う。しかし、これは、この制度を必要としている保護者にとってはそうですが、そうでない保護者にとっては、今のままの幼稚園でいいと思います。(保護者)



(4) その他

「幼稚園が廃園になれば、小学校もすぐに廃校になるかもしれない。」と不安がっておられる小学校の保護者が多いと聞きましたが、幼稚園と小学校では、学校規模適正化の基準が違うため、幼稚園の適正化が実施されるからといって、必ずしも小学校も直ちに適正化が実施されるというわけではありません。

今後、佐保台一丁目の宅地開発等もあり、児童数の増加が予想されるため、小学校については、しばらく様子を見ることにしています。



(5) 今後に向けて

第3回検討協議会は、PTA総会後の5月下旬～6月上旬に開催し、第2回の協議の続きを実施する予定です。

【お問い合わせ先】 奈良市教育委員会教育企画課

(TEL) 34-1111

(内線) 4142